

## 1998年度 浦野環境教育奨励金 活動報告

### 環境家計簿（小学生版）の作成と実践

—エコライフ ワークシートを作成して—

ネットワークE.E.（環境教育）inおおつ

植田善太郎

#### 1. 概要

最近、自治体の環境意識啓発事業として、「環境家計簿」の取り組みが盛んに行われているようである。私たちが取り寄せた資料だけでも、東京都、千葉県、八尾市、仙台市、練馬区、板橋区といったものがあげられる。簡単なパンフ程度の物も含めると、ほとんどの自治体で環境家計簿に近いものを発行しているのではないだろうか。

しかし、そういった自治体の思いとは別に、「家計簿」という名称がもつ煩雑さが、「環境家計簿」の普及を遅らせていることも事実である。

そこで、「家計簿」という呼び名はやめて、「ワークシート」とし、煩雑なイメージを取り除いた「環境家計簿」を作成することにした。

小学校の環境教育の事例をみたときに、ゴミの問題を扱う4年生の社会科の単元は、小学生が環境教育に触れる入り口のような教材である。

この単元におけるゴミの行方をめぐる問題と、地球温暖化問題にかかわる二酸化炭素増大の問題とを関係づけた単元構成の教材を開発し、実践することを目標にした。その目標達成のために、上記の「ワークシート」を準備し、児童が活動しながらシートに書き込むことで、環境意識を高めていけるように考えた。

今回の報告のような「環境家計簿」の実践を小学校で行うことは、「総合的な学習の時間」を有意義に活用することでもあるし、環境教育を推進するにあたって有効であると考えた。

#### 2. 実践の概要

概要でも述べたように、自治体が発行する「環境家計簿」は一般市民向けであり、小学生が使用するようにはできていない。そこで、まず自治体

が発行している「環境家計簿」とそれに類似するパンフレット類を入手し、その中で共通した内容を拾い上げ、それを小学4年生用に改良する作業を行った。

続いて、メンバーの中で4年生を担当しているものが、授業の中で使用することでより使いやすいものに改良していった。

また、大阪府が実施したエコライフ実践活動に積極的に参加し、児童の意識と行動についての現状把握に努める中で、ワークシートの作成に生かした。エコライフ実践活動は、小学校では旭小学校と条東小学校が取り組んだ。両小学校ともに、4年生の社会科の学習を契機としてエコライフ実践に進めていった。（エコライフ実践活動の詳細は「平成10年度エコライフ実践活動モデル事業委託業務報告書、平成11年3月、大阪府」を参照）

#### 3. 今後の課題

私たちのグループは泉大津市内の学校教育に関わって、環境教育を推進するために活動している。1993年5月15日甲南大学で開催された第2回関西支部シンポジウムに参加して刺激を受けた泉大津市内の教師が集まってできたサークルである。

今まで、アルミ缶の消費を抑えることを訴える環境教育用ビデオを作成したり、環境教育のリレー授業（何人かでリレーしながら授業をする）をしたり、市主催のエコライフ・フェスティバルに協力して非木材パルプケナフを利用した紙すきを紹介したりするなどの活動を行ってきた。

今回は、市内の全小学生がある程度同じような体験学習ができるようにエコライフ・ワークシートを作成して全4年生に配布するように計画した。

今後は、このワークシートを使った環境教育の授業の検討を行う必要がある。教育課程が変わって教育内容も不確定な時代が訪れようとしている。このような時期だからこそ、環境教育の確実な教材を残して行く必要があると考えるからである。